

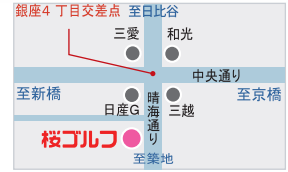


株式会社 桜ゴルフ
東京都中央区銀座5-9-1 銀座コティビル3階
(銀座4丁目交差点より1分)

銀座本店 伊勢丹新宿店 そごう千葉店

【お問い合わせは】

0120-83-5021
本社営業部 03-3572-8511
伊勢丹新宿店 03-3358-9181
<https://www.sakuragolf.co.jp>



23年7月の価格帯別相場推移

価格帯	1~6月	7月					年初比
		1週	2週	3週	4週	月間	
1000万円以上	3.0	0.3 ▲0.1	0.2	0.2	0.6	3.6	
500万円以上	6.2	0.1	0.5 ▲0.3	▲0.1	0.2	6.4	
300万円以上	7.2	▲0.1	0.4	0.5	1.3	9.4	
150万円以上	0.9	▲0.6	0.4 ▲0.4	0.2	▲0.4	0.4	
70万円以上	2.0	0.7	0.1	0.3 ▲0.1	1.1	3.1	
70万円未満	6.1	0.6	0.4	0.0	0.5	1.5	
平均	3.8	0.2	0.1	0.1	0.2	0.6	

(単位: %、価格帯は名変諸費用含む) 桜ゴルフ総研調べ

梅雨明け前から連日の猛暑に見舞われた7月。ゴルフには敬遠される気候でしたが、会員

7月相場続伸
年初比+4.5%へ



草分けとしての使命を
佐川 八重子

~23年7月相場のポイント~

- 月の平均相場+0.6%と続伸、年初比+4.5%へ上伸
- 総額300万円以上が+2.0%と突出、相場を牽引
- 70万円未満・70万円以上のお手頃価格帯も堅調
- 動きの鈍かった法人が大きく買いに転じた事が影響
- 7月の買い注文は売りの1.6倍、中堅上~準名門が人気

~企業グループ保有コース数のポイント~

- アコーディアGと平和・PGMが不動のトップ2を形成かつての専業大手等を傘下に収めて急速に拡大
▽日東興業、スポーツ振興、緑営等 ⇒ アコーディアG
▽日本ゴルフ振興、地産、STT等 ⇒ 平和・PGM
- 西武・東急は順位不変(4~5位)も保有数が大幅減少
- リソルGが東急不動産系4コースを取得しトップ10入り
- 経営環境次第では保有数・ランキングに変動も

権市場は買いで賑わいました。月間の平均相場は0.6%の値上がりで、1月から7月まで連続で上昇、年初比では+4.5%となりました。

7月の売りに対する買い注文の倍率は1.6倍と今年最も高い水準です。総額300~500万円の中堅上位、準名門コースの入会が貢献しました。特に、これまで動きが鈍かった法人では、株主総会後に好業績から一気に買いに転じた事が影響しています。個人ではリタイアを迎えた夫婦、仲間同士での入会や初めての会員権購入者の相談が目立ちました。

高額コースには過熱相場の反動で売りが滞留している銘柄もありますが、売りが一巡し割安感の出た銘柄には再び買いが集まっています。例年、夏のレジャーや旅行などで7~8月の会員権市場は夏枯れに入りますが、今年も明るい7月相場となりました。

ゴルフ場企業の勢力図

二大グループは不動

近年、ゴルフ場企業グループの上位勢力は固定化しています。特に外資のゴールドマン・サックスから転じたアコーディア・ゴルフと、同じくローンスタールから転じた平和・PGMが、国内既設コース保有数で3位以下を大幅に上回る不動のトップ2を形成しています。

両グループは2000年の民事再生法施行を契機に、法的整理に進んだ専業大手を相次いで吸収し急速に拡大しました。中でも旧オリックスグループが加わったアコーディア・ゴルフは一貫してトップの座を保っています。ここ数年、3位以下の上位陣に概ね変化はありませんが、この1年は大きく動きました。

企業グループ保有コース数ランキング(国内) (一季出版調査より)

2000年			2023年		
順位	企業グループ名	コース数	順位	企業グループ名	コース数 前年比
1	西武グループ	42	1	アコーディア・ゴルフ	171 2
2	日東興業	30	2	平和・PGM	146 1
2	スポーツ振興	30	3	市川ゴルフ興業	30 ▲1
4	東急グループ	29	4	東急グループ	21 ▲4
5	日本ゴルフ振興	28	5	西武グループ	20 ▲9
6	富士Cグループ	22	6	太平洋	19 0
7	緑営	18	7	シャトレーゼ	18 0
8	地産	16	7	ユニマツト	18 0
9	大洋緑化	14	9	パンリユーゴルフ	16 1
10	太平洋	13	10	リソルグループ	15 4
11	STT	11	10	チェリーゴルフ	15 0
11	市川造園	11	12	リゾートトラスト	13 0
11	総武都市	11	13	東京建物	12 0

西武グループが経営改革の一環として9コースをシンガポール政府投資公社の子会社に売却したほか、東急グループは東急不動産系の4コースをリソルグループに譲渡して保有コース数を減少させました。西武・東急の順位に変わりはありませんが、4コースを加えたりリソルグループは前年の14位から10位へとトップ10入りを果たしました。今後、経営姿勢や経営環境の変化次第では保有状況や保有数ランキングに変動が生じる可能性があります。